

りつめい

題字・末川博名誉総長

April 2003

Ritsumeikan University Alumni Association

RITS
立命館大学

No.

212

立命館大学校友会報

Special #1 [特集 1]

All Ritsネットワークをつくろう
立命館学園と校友会等との
新しい関係づくりに向けて

Special #2 [特集 2]

**21世紀COEプログラムと
立命館大学の研究活動**

輝くひと
brilliance 45

京都を、どこにも負けない
演劇文化都市にしたいから、
今日も夢を配って歩きます。

藤井 満里子さん ('01院社会)

劇団四季 京都公演本部



表紙の人



藤井 満里子さん (01院社会)

M a r i k o F u j i w a r a

ところは京都劇場。ロングランミュージカル『オペラ座の怪人』の、めくるめく舞台に見入る満員の観客。この中には藤井さんとの出会いがもて足運んだ人が少なからずいるはずだ。

藤井さんは、劇団四季京都公演のチケットを主に団体向けに案内・販売する営業ウーマンである。非日常の世界へ私たちをいざなう、いわば「夢の仕掛け人、配達人、時には解説者」として、日々走り回っている。「お客様はそれぞれ良いお顔になって劇場を後にされます。いろいろなことを感じて下さったお顔です。皆さんの人生に、ほんの2〜3時間でも関与できることが喜びです。」

大学で社会学を専攻、「社会学」ゆえに、そのまま進学せずに一旦実社会を経験してから更に学ぼうと考えていた。計画通り、社会人入試を突破して大学院社会学研究科に入学。文化・歴史などに関する考察を集約させ、現代という時代に息づく文化のあり方を自分なりに考えたいという気持ちからだった。

そんな大学院在学中、京都ローカルのFM放送局で経験したレポーターの仕事が、藤井さんのその後を方向付けた。伝統文化にかかわる生レポートを週1回ずつ。狂言を取り上げた放送の終了後、リスナーからファクシミリが届いた。「息子を亡くして失意の日々を送っていたが、あなたのおかげで狂言に大変興味を持った。狂言を楽しみとして生きていきたい。」「文化は生きる糧になる」と改めて強く感じ、「人と密に接しながら、文化の力で社会を豊かにする仕事を目指そう」と思った。そして舞台芸術の巨星、劇団四季の門を叩く。

京都劇場の前身、シアター1200ができた6年前は、毎日前を通りながら「ここに『オペラ座の怪人』が来てくれたら」と願う一人のOLだった。当時、四季の一員になるなどとは夢にも思わず、時折今の自分に震えるほど驚くことがある。「演目の魅力はもちろん、その年にここ京都で行う意味まで考えて咀嚼した情報を、自分の言葉で皆様にお伝えしています。劇団四季をご存知ない方や演劇に関心のない方にこそ、私だからこそできるご案内をしたい。お客様との縁を開拓しつつ、京都にもっと豊かな演劇文化を花開かせていければと思います。」

京美人で一見物静かそうだが、実は好奇心旺盛で活発、話し好き。ホノルムマラソン走定の勇者でもある。京都の若手校友有志でつくる「春風会」活動にも参加。「立命館はいつでもエネルギーの源。がんばります。」(写真・小幡 豊)

*劇団四季 <http://www.shiki.gr.jp/>

C

O N T E N T S

Special #1
特集1

1 輝くひと 藤井満里子さん

3 All Ritsネットワークをつくろう
立命館学園と校友会等との新しい関係づくりに向けて

8 RITSUMEI INTERVIEW

自然・土・炎と交わり
自由奔放に“琉球のかたち”を探す
大嶺寛清さん



10 キーワードから見る現代

「水」水質管理の視点から見た
日本における水問題の解決策
市木敦之理工学部助教授

12 立命館あの頃

1955年〜1965年頃(昭和30年代) その2

14 おじゃまします

法学部田村悦一ゼミ1970年卒同窓会の巻
政策科学部同窓会の巻



16 この一点

「SHIN」 平岡紫綾さん

17 自由席

18 おめでとうパンサーズ 念願の日本一!!

19 校友会ネットワーク

20 立命館ファミリーカードコーナー

Special #2
特集222 21世紀COEプログラムと
立命館大学の研究活動

佐上善和研究部長



25 キャンパストピックス

26 学生のスポーツ&イベント

定年退職教職員紹介

28 INFORMATION



特集1

All Rits ネットワークをつくろう

立命館学園と校友会等との新しい関係づくりに向けて



立命館の第2世紀を迎えて、はや4年目。

学園が、そしてそれを取り巻く私たち校友等がともに発展・成長を目指すために、
お互いをよりいっそう支えられるように、新しい視点から互いの関係を考えてみませんか。
そしてあなたも、あなたにできる自由なかたちで、それに加わってみませんか。

母校立命館に、後輩に、そして校友一人ひとりに 実りをもたらす校友会を目指して 今、また新しい一步を

立命館大学校友会 会長
河原 四郎



この春も、七千名の後輩たちを我が校友会に迎え入れることになりました。新会員の皆さん、ご卒業、そして校友会ご入会まことにおめでとうございます。この喜ばしい時を機に、すべての校友の皆様、ここ数年の校友会の姿を振り返りつつ、今後に向けての提言をお伝えしたいと思います。

校友会改革の軌跡と成果

さて、六四カ国・地域の国際学生一〇六名（昨年五月一日現在）が学ぶ立命館アジア太平洋大学においても、今春、初の卒業生が社会人としての新たな旅立ちの時を迎えようとしています。そして母校立命館大学にも二一カ国四六八名（同右）の留学生が学び、学生・院生・教職員の活動もますますグローバル化しています。我々の母校立命館大学を中核とする立命館学園は、この間社会からの大きな期待と多彩な支援を得て大きく発展し、我が国の教育改革にあつて先導的な役割を果たすようになってきています。母校立命館の社会的位置は我々校友の予想をはるかに超えて高まり、その役割と責任もますます重くなりつつあります。

校友会としても、ここ数年の母校の発展と構成員の諸活動の国際化をふまえて、それに対応した校友組織のあり方を考え、会活動の改善を目指して様々な改革を推し進めてきました。

その内容は

①校友会本部機構の改革

- 各県支部を各県校友会と名称変更し、体制を強化
- 本部専門委員会組織の全面再編（総務、財務、広報の三委員会を基本とし、情報特別、新世紀特別両委員会を併設）
- 常任幹事会の設置、幹事を含む実務役職

者の世代交代促進

●事務局機能強化

- ②各県校友会活動、職域等グループ活動への支援強化
- ③海外支部の設立促進
- ④体育会のOB・OG組織である立命館スポーツフェローや各学部同窓会組織との連携

⑤各界で活躍する校友の個別組織化

⑥これらを促進するためのIT化

●ウェブサイトの運営

（現在、累計約三〇万カウント。毎週約三千人がアクセス）

●校友メール転送システムの構築

（個人のアドレスを非公開のまま、校友アドレスからメールを相互に無料で転送できるシステム）

等々であります。

このような改革の力は、二〇〇〇年五月、大分県別府市に一七〇〇名を超える校友が集った「学園創立一〇〇周年記念校友大会」や、新しい後輩たちのために僅か半年余の期間で一億円余を集めた「立命館アジア太平洋大学正門募金」の成功を経て、その後国内外各地での校友会活動の活性化や執行体制の刷新に結びついていきました。

その結果、年間一〇〇回を大きく上回る諸会合に、計一万余千人の校友の参加をみるなど、他の国内各大学校友組織との比較においては一定の到達点



を築いてきています。従来独自に行われてきた各サークル等のOB・OG会も、その多くが順次校友会の登録団体として把握され、現在の登録団体数は五年前の約二五〇団体から約四〇〇団体にまで急増しています。今後ますます登録数や活動の幅の広がりが予想されます。

これを受けて、東京・大阪で大きな成功を収めつつある「新人歓迎会」の取り組み（昨年は東京で二八五名、大阪で一一名が参加）や京都の自主的な若手学習交流グループ「春風会」の取り組み、またRGS (Rits Greeters Society) のような各界で活躍するOB・OGの学習交流会など、多彩な交流活動が行われるようになり、愛知県校友会のRITSUMEI SUNDAY TALK AND CONCERTSのような一般公開企画（二〇〇一年一〇月、愛知県芸術劇場大ホール。約二千名参加）も生まれました。もちろん各地域での日常的な交流の広がりと言ったでもありません。

さらに有機的で実りある 校友会活動のために

今後は、会員相互の連携により、いっそう互いの活動の場を広げ、そして母校と後輩たちに物心両面にわたる継続的かつ効果的な支援をしていくことはありませんか。そのためには私たちの校友会組織が、もう一回り大きな人の輪、すなわち「オール立命館」の視点をもって発展していくことが望まれます。

その具体化のためには

①学園支援者相互の連携強化

当校友会と、立命館アジア太平洋大学を

はじめとする学園内各学校出身者、父母や関連企業などの学園支援者相互の幅広い連携を効果的にすすめる仕組みを作り、取り組む。

②校友会ならびに学園による個々の校友支援の強化

我々校友が母校立命館とその関係者を何時も身近に感じられるような情報提供や、リカレント教育・生涯学習など様々な学習機会の提供に努める。

③校友による母校および後輩への効果的な支援策の検討

母校と後輩たちへの様々な援助活動を効果的に結び合わせ運営していく仕組みと、それを正しく顕彰していく仕組みを作り、実践する。

④校友と学園関係者との連携強化

複数キャンパス化・複数校化をふまえて校友と学園関係者の多様な連携をすすめる学生・院生・教職員との協同を進めるコミュニケーションシステムを整備する。

⑤校友会財政力量等の強化

以上を進めるうえで必要な会自体の財政力量および事務局機能を整備強化する。

これらの事柄について、今こそ積極的な論議を行うことが重要だと考えています。

私たち校友の元気は、母校の限らない発展、後輩たちの目覚ましい活躍によって生まれます。それを継続的なものとするため、最も身近な支援者として可能な方法で学園創造に参加していくことが、国際社会で光り輝く私立立命館の校友としての誇りであり役割であると考えています。いま校友の皆様それぞれが、母校への熱い思いをあらためて胸に刻み、校友とは校友会とは何かを考え、新しい校友会活動の扉を開いて下さることを願っています。





特集 1

All Rits

ネットワークをつくろう

[All Rits ネットワ

立 命 館 学 園

立命館大学

立命館アジア太平洋大学

立命館中学校・高等学校

立命館宇治中学校・高等学校

校 友

校友会ネットワーク

立命館大学校友会

校友会本部（事務局：立命館大学校友会課）

《校友会本部役員》

会長・副会長・監事

常任幹事

幹 事



《専門委員会》

総務委員会

校友会組織・体制・行事全般にわたる企画立案

財務委員会

校友会財政の中長期的計画立案、収入政策立案

広報委員会

校友会報の編集・発行を通じた、校友会活動・校友動向の広報

21世紀構想特別委員会

情報特別委員会

Uターン就職希望の学生の相談にのって下さい

都道府県校友会

地域グループ

海 外 支 部

学部学科同窓会・連絡協議会

卒業年次OB会・ゼミOB会

サークルOB会

職域グループ

その他のグループ（世代別勉強会等）

学生のインターシップにご協力いただけませんか

学生生徒の父母

ーク]

立命館慶祥中学校・高等学校



香港に転勤だ!
現地で仲間を
つくろう

立命館アジア太平洋大学校友会

立命館清和会

(中学校・高等学校同窓会)

立命館宇治高等学校同窓会

クラブの活動
支援をしよう

立命館慶祥中学校・高等学校同窓会

学園支援者



Network

All Rits ネットワークを構築しよう

立命館学園、そして学生生徒・教職員と、校友・父母・支援企業等々、学園に近い存在である人々が、手を取りあって相互に支え合える“生きたネットワーク”を構築することが、これからの目標です。

支援する側、される側といった、一方通行の域を出ない役割分担意識では、これからの時代に私たちが大きく発展していくことは望めません。必要な時に、必要な援助やサービスを、お互いがお互いに対して提供できる、そんなフレキシブルな関係づくりが理想です。

たとえば、私たち校友が母校と後輩に対して様々なサポートをする一方で、学園は校友に対して社会人教育の機会を提供する、あるいは学園の知的財産を校友が効果的に活用できるような仕組みを考える、等々です。こうした環境のもとで、母校も、現役学生も、そして我々校友も、いっそう元気に活躍できるのです。

もちろん、かねてからこのような交流はありました。しかしそれを、誰にも分かりやすく、利用しやすいかたちで、一定の“システム”にまで高めていくことが今求められるのではないのでしょうか。

立命館大学校友会は、そのネットワークの中核のひとつとして、大きな役割を果たせるはずです。従来ある組織的な校友会活動に加え、私たち校友が必要に応じて一個人としても自由に動け、いろいろな人々との関係をつくりあげられる、それが保障される中から新しいエネルギーが生まれてくることでしょう。

大嶺實清 さん

「61文」

■陶芸家 読谷山窯主宰
■沖縄県立芸術大学学長

京都留学

京都にいらした頃は、まだパスポートが必要な時代だったんですね。

そうですね。絵描きになりたくてね。関西に親戚がいた縁で来てみたら、京都が気に入っちゃった。多感な、自分の生まれた島が嫌いな青年だったんですよ。沖繩ではいろんなことが起きていたですよ。親父はフィリピンに移民したが、妻子を呼び寄せることもかなわず、召集されて露と消えた。戦争が終わっても、ちょうど自分というものを探し出そうとする青春の時期に、この島は植民地であった。あの時の気持ちといったら……。こんなことあるか、何これ！という感情が、僕のバネになっていたね。

なぜ立命館へ？どんな学生でしたか。

”京大事件（滝川事件）”で京都大学を去った教授陣が移っていった大学だという話を聞いていたので、面白そうだ、よし行こう、と。哲学者の船山信一先生にも関心があった。アイトをやりたくて、その根源としての心の基盤というか、生き方を探ろうとしていたのかな。僕にとって大学は自分軸をつくるための場所だった。船山先生の哲学概論には必ず出ていたね。トータルに物事を見る姿勢を叩き込んでもらった。まだ若かった梅原猛さんの講義も面白かった。あとは大阪のデッサン教室へ行った。本を読んだり、美術研究部で活動したり、自由気ままにしていたな（笑）。

下鴨の下宿の大家さんにも大変お世話になったし、京都にはいい思い出が多い。それで救われたね。

物が表す文化の重み

絵画から陶芸に転じるきっかけも京都にあったのですか。

僕は当時、焼き物のことはなんにも知らなかった。散歩が好きで、五条坂をよく歩いていたんだが、ある骨董店の店先で、茶色っぽくて肌のいい、比較的小ぶりなものが目に留まった。通りかかる都度気になって、とうとう店主に「これは何でしょうか」と尋ねたら、「琉球南蛮（荒焼の壺です）」と言う。「琉球」と聞いて、絶句しましたね。嫌だったのだから。これに惹かれてワクワクしながら帰省してみたら、ゴロゴロあるんだ、同じようなのが。もう使われなくなつて、床下や台所の隅に突っ込まれていたんですよ。明治以降、琉球の昔ながらの生活様式が追いやられ、戦後ますます捨て去られた結果の姿だった。僕の物へのこだわり

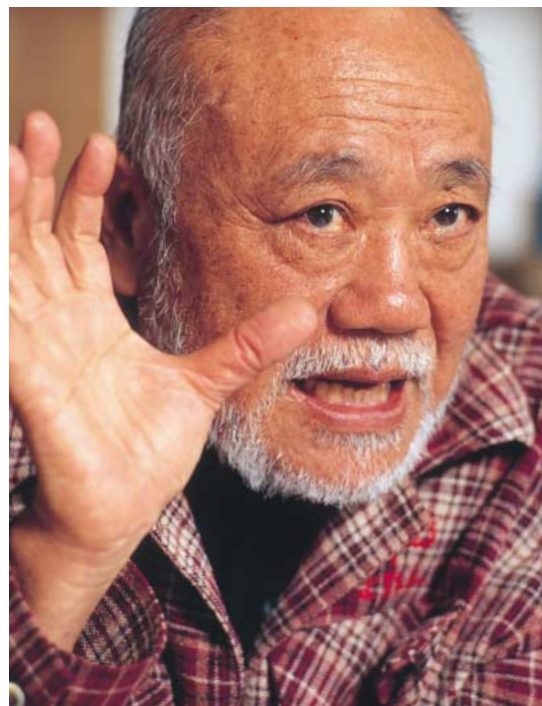
の原点はこの経験にあると思う。卒業して沖繩に帰ると、暇さえあれば古い焼き物を探して歩きまわしたよ。離島にまでも

自然・土・炎と交わり 自由奔放に“琉球のかたち”を探す

1933年沖縄県生まれ。
小学校教師を経験の後、画家を志して京都へ。
61年文学部哲学科卒業、帰郷。
高校教師をしつつ描き続けた絵画で評価を受けるも、陶芸家に転身。
71年首里城北に「石嶺窯」を、80年読谷村山中に「読谷山窯」を築く。
那覇・東京を中心に各地で個展開催。
86年沖縄県立芸術大学開学時より教鞭をとり、97年教授で退官。
2002年同学学長に就任。



登り窯（読谷山窯）



おおみね じっせいさん

大嶺さんの作品は、大きさ、形、色、質感のどれをとっても様々である。美しい遠浅の海のように艶やかなターコイズブルーあり、島の赤土や琉球石灰岩を彷彿させる肌合いあり、あるいは芭蕉布の縞模様を思わせるモチーフあり。しかしもちろん、大嶺さんの目は琉球のもっともっと深いところを見据えているのだ。平面はキリリと引き締まり緊張感を醸し出し、曲面は大様で、悠なる何某か、あるいは果てしない未来につながる何かを感じさせる。

大嶺さん自身もとても表情豊かで、厳切と柔和の間を行き来する。一つ一つの言葉を噛みしめるような訥々とした語り口には、芸術家としての道のりの長さと重さが滲み出ている。そして、優しさ、あたたかさ。

「余計なものは一切はぶく。やりたいことを最優先する」。やりたいことを実現するためには悩みも苦しみもする。身体も精神もぎりぎりまで。「でも、それが楽しいんだよ。楽しいというのは、こういうことです」。



出かけて、一軒一軒 夢中になって
嫌いだっただ沖繩の、古い文化を体現したものだとは知らずに、”琉球南蛮”に心を奪われた。その衝撃によって陶芸の道をお選びになったのですか。敢えて向き合おう、という意味で。

というよりも、物そのものに目が覚めたんだらうね。物の文化を意識した、と言うのかな。いろいろ調べていくうちに僕は、琉球が独立王国であったことの意味の重さを感じた。国内統治、外交、交易ね。中国とも、日本、薩摩とも、アジアのいろんな国々と。これらに対処するための知の集大成、それが琉球王国の文化であって、半端なものじゃない。僕は偶然の出会いをきっかけとして物としての焼き物の中にそれを見てとった。京都時代に、前衛芸術、具体美術の”物化”の表現を知り、非常にインパクトを受けていたこともあって、それまでやってきた平面の絵画はもういいやという気持ちになった。焼き物の窯を築き、薪を焚き、土と格闘することを選んだんだ。

そして、焼き物づくりを通して琉球の文化を探索、回復していこうとなさったのですね。琉球の心を形にしようというの。
形と言っても、単なるシェイプの意味ではないよ。もっともつと裏側にあるかたちの話です。琉球をどう考え、どう捉えるか、そしてそれを自分なりに焼き物でどう表現するかということ、それが、”琉球のかたち”を探索ということなんです。また船山先生の話になりますが、「哲学概論は哲学である」「概論というのは骨格だ」という話をいつも言っていたね。物にせよ、考え方にせよ、何かを構築するためには脈絡・骨格がないとだめだと言われているのだと僕は理解していた。部分だけをいくら突っ込んでみても人間が生きているというのは、トータルな行為なんだから。だから僕は、”琉球のかたち”を骨格に据えながら、いろんな様相の作品を作り、自分が感動するものを自由奔放に探していきたい。

先生にとっての物づくりとは？

自然との関わりで自己を回復しようとする。

すること、かもしれない。原点への回帰僕は地球の土すべてが素材たり得ると思っっています。無垢なる土で、いかなる造形ができるか。どんな命を吹き込めるか。自分の作品で自分をうならせることはまだできない。とにかく作り続けるしかないんだね。いいものは通か彼方にあるような気がする。少しでも満足すればそれはますます遠くに行ってしまうから、やっぱり生み出し続けるしかないんだよね。

生きる力たり得る芸術を次代に

ところで、退官後五年で学長に就任されましたが、抱負をお聞かせ下さい。

実は、一度は断ったんです。僕の中で学長とは、立命館の末川博経氏であり、本学初代学長の山本正男さんである。二人のイメージが偉大だったので、悩みに悩んだ。けれども今は独立行政法人化の問題などがあり、変わろう、変わらなければ、という時で、自分に何かできることがあるかもしれないと考えたのです。次世代に伝えたいこともあったのでね。今の芸術界は、僕の物にこだわる方向とは逆の動きをして、バーチャルな、パターン化された概念で塗り込められつつある。病んだ日本の姿に相通じるものがある。しかしこれでは、芸術は生きていく人間を支えるエネルギーにはなり得ないと思いますよ。芸術における純粋を求めるとき、生きるという、人間の地に足ついたトータルな行為のバランスをうまくとれる若者を育てたい。学生たちに僕との出会いによって見つけてほしいことがたくさんあるのです。こういう発想ができるのも、細分化されたアカデミズムにとられない、自由な私立立命館で学んだおかげだね。とても感謝していますよ。

「水」 水質管理の視点から見た日本における水問題の解決策

市木 敦之 立命館大学理工学部助教授

[Q]

日本国内で「水」がクロースアップされるようになったのは何故でしょうか？

A

一九九〇年代以降、頻発する干ばつや砂漠化、大水害、水質の汚染などの水問題に対する国際社会の取り組みが十分とする認識が、世界的に広がってきた。この頃から有限な水資源が誤って管理されているという認識も広がり、国連を中心とした取り組みだけでなく、世界の水問題の解決に向けて水関係のあらゆる分野の専門家、あらゆる水の利害関係者が共に活動する仕組みが求められています。このように以前から関心は持たれていましたし、決して急にクロースアップされるようになったわけではありません。

昔から、他の環境、例えば「大気」、「土壌」、「音」などと同様に、「水」に対する国民の意識は高かったと思います。今、世間の関心が一層高まっているのは、人々の健康意識や生活環境意識が向上したこと、水の環境を分析する機器や技術が発達し、以前は分からなかったことが明らかにされてきたからでしょう。例えば環境ホルモンなどの影響で底生生物のメス化が進んだり、魚のあごが小さくなるなど生物の機能の低下が見られることや、重金属などの有害物質、発ガン性物質が環境水中に蓄積し、食物連鎖を通して人体に影響を与える可能性があることなど、様々な水に関わる報告が出されています。

[Q]

日本では水質を守るためにどのような手立てがとられているのでしょうか。

A

水質を守る視点から見た場合、日本の政策は海外と比較して遅れていると思います。日本は急斜面を流れる川がとても多いため、「洪水」への対策は以前から考えられていたのですが、水質問題は置き去りになっていました。現在、雨を介して高速道路から流れる汚濁物について研究しているのですが、PAH (Polycyclic Aromatic Hydrocarbon) と呼ばれる発ガン性の疑われている炭化水素が直接河川へ流出し、水域の生態系に被害を引き起こしているのではないかと考えています。

道路を作る際に「騒音」「大気汚染」などの問題は一定考慮されてきたと思うのですが、水環境の整備はそれほど進んでいません。アメリカでは、いくつかのインターチェンジに排水を処理する施設、湿地などが設けられ、池の底に汚濁物を沈殿させたり、流出水を浸透させたりして、水を浄化する仕組みを作っています。日本でも道路の側溝に微生物の膜が付着したサイコロ状のスポンジを用いた装置を設置し、有害な有機物を酸化させるといった試みが実験的に行なわれていますが、非常にコストがかかったり、維持管理の問題もあって、実用段階には至っていません。水環境を整備する意識を持つ必要がありますね。

[Q]

先生のご専門の視点から、水質問題の解決に向けてどのような対策が必要だと思われますか。

A

以前よりノンポイント汚染源、いわゆるポイント（位置）が明確に絞れない場所、例えば、都市の表面、道路、屋根、農業系の水田、畑地で発生した汚濁物の公共用水域（河川や湖沼、海域）への水

「水」 水質管理の視点から見た、日本における水問題の解決策

21世紀の国際社会における水問題の解決に向けた議論を深め、その重要性を広くアピールすることを目的として、世界水会議（WWC）により提案された会議「世界水フォーラム」が、今年3月、京都、滋賀、大阪を舞台に開催されます。そこで今回は、世界の主要な水問題の一つに掲げられており、フォーラムの主要テーマとなるであろう「水質汚濁」の問題について、汚濁物の発生・堆積・流出のメカニズムを研究されている理工学部の市木敦之助教授からお話を伺いました。

A 汚濁物を出さない意識はもちろんですが、その流出過程を理解しないといけないと思います。例えば、リサイクル運動として牛乳パックの回収などがさかんに行なわれていますが、自宅に下水道の整

[Q]

生活者が意識すべき点とは？

の流出過程と排水対策を研究してきました。ノンポイント汚染源に関わる排水対策としては、ため池をつくり水を溜め、有害物の付着した粒子を沈降させ、葦などの水生生物や土壌を利用して有機物を取りこみ浄化させるといった方法や、微生物に有機物を食べさせて、その後、放流するという方法などがあります。水質問題の解決には行政との連携も大変重要です。現在取り組んでいるのは、行政機関も含めて、だれもがコンピュータ上で汚濁物に関わる情報を取り扱うことができ、解決にむけた方策を議論できる場「汚濁物流出管理支援システム」の構築です。近々に実現し、行政の政策決定を支援していきたいと考えています。



A 水フォーラムに限ったことではありませんが、産官学民が一体となつてこうした世界の水問題をテーマに話し合う機会は、大変貴重なものだと思います。私たちの身近な問題については、これまでのような行政主導型の取り組みではなく、行政と住民が役割を分担した住民参加型での合意形成が正しいあり方だと思っています。滋賀県の場合、その点では先進的であつて、たとえば琵琶湖の「富栄養化防止条例」などは市民ボランティアの声から生まれたものでした。これを機に環境問題の解決に向けて、市民から多くの運動が生まれることを期待しています。

[Q]

世界水フォーラムに関するコメントをお願いします。

備がされていないところでは、牛乳パックを洗った水をそのまま流せば、大量の有機物が流れ出るようになりますから、一概に良いとばかりは言えません。今回、琵琶湖・淀川流域で開催される世界水フォーラムでは、メディアを通じて水に関わる情報が多く出されますから、ぜひ関心を持っていただきたいと思います。



profile いちき あつし

1989年立命館大学理工学部卒業。大学院理工学研究科に進み、2000年4月から助教授。汚濁物の流出解析をテーマに研究。専門は土木環境システム。

■主な著書・研究論文

"Integrated Stormwater Management", LEWIS PUBLISHERS (共著・1993)

"Prediction of Runoff Pollutant Load Considering Characteristics of River Basin", Water Science & Technology (共著・1995)

「集水域における下水道整備進捗に伴う琵琶湖流入汚濁負荷量の変化」(共著・『水環境学会誌』Vol.19 1996)

頃あ館命立

学生生活を追って

1955年～1965年頃（昭和30年代）その2

戦後の雰囲気はわずかに残っていた五〇年代後半、そして高度成長に沸いた六〇年代前半。五五年以降の一〇年間は、社会の変貌が著しかった。そんな時を過ごした学生たちは、多少の苦労は物ともせぬ活力に溢れていた。

阪小路存心館（山田尚司さん提供）



「わかば会」の友と

山田尚司（57経済）

「未来を信じ、未来に生きる」「諸君は二世紀を生きていくことができる」

等、末川先生の力強いメッセージを聞きながら、わだつみ像が建立された一九五三年に入学した私にとって、末川先生の肉声による講義は忘れられるものではない。その進歩性のある論議は、私の生活上の指針になったよ

うに思っています。この、わだつみ像の前での写真は、一九五七年三月、卒業式を間近に控えた日に撮ったものです。

私たちは一部の学生で、昼間は公務員や会社員等の職業人として勤め、仕事が終わると学生に変わり、四年間通学しました。講義のとき、いつも前のほうの席をとって座るうちに顔なじみとなり、高校も定時制に通っていたなど似たような境遇であった私たちは、かけがえのない友情を育んでいきました。「わかば会」と称し、卒業後も今日まで延々と毎年一回、顔を合わせて交流しています。

「わかば会」の仲間と
（山田尚司さん—後列右から2人目—提供）



当時互いに貧しかったことは事実ですが、充実した学生生活を送れたと思っています。先生方のお言葉を思い返しつつ、一方で食堂のうどんの話など、生活に密着したささやかなことも語り草にしている私たちです。

体育祭訪問飛行の思い出

三嶋 忠（58理工）

私は在学中、体育会航空部員でした。関西学生航空連盟に本学も所属し、春・秋の年二回、四国高松飛行場でグライダーの合宿訓練をおこなっていました。参加したのは当時の関西六大学すなわち本学、同志社、京大、神戸大、

関学、関大（懐かしいです）の航空部員の面々です。

またこの連盟を後援してくれたのが朝日新聞社であり、各大学の体育祭の日に自社の取材用セスナ機に各校航空部キャプテンを同乗させてくれ、空から訪問飛行をおこなっておりました。

一九五五年秋の本学体育祭は衣笠グランドであり、私がこのセスナ一九五型機に同乗飛行することになりました。

た。空中から当時の末川総長のメッセージと祝賀ビラを投下しようという決定、早速総長室を訪問してメッセージの原稿をお願いしたところ、一週間後に原稿を頂けたことが昨日のように思い出されます。

いよいよ当日、一月三日、大阪八尾飛行場を離陸、御營筋上空を北上、一路淀川に沿って飛行。左に機首を向ければ衣笠山が見え、理工学部校舎と夕



末川総長の手による色紙
(平山賢二さん提供)

俺達の大学生活

松山義信(61文)

私が在学したのは、所得倍増・高度成長政策発表、カラーテレビ本放送開始、初の人工衛星打ち上げといった出来事があった時代である。

文系学部は河原町通と御所の中間にあり、多くが学生服で角帽をかぶっていた。角には整風堂書店が、校門前には角帽の店があった。下駄履きが主流で、先生に、「やかましい下駄なんか履いて」と清

心館の階段で叱られたものだ。四回生になると経済的に恵まれはじめ、時には背広も着た。時計台のある存

心館前では、学生服姿と背広姿の学生が混じって談笑するアカデミックなキャンパス風景を目にするようになった。

私は福知山から汽車通学をしていた。五時起床、山陰線石原発六時八分に飛び乗り、八時三〇分二条駅着、河原町の校舎へと急ぐのであった。三、四回生になるとディーゼル車が走り始め、煤煙のない車中を晝夜代わりに使えた。和歌山、姫路、神戸の山田と、随分遠方から通っていた友達もいた。

末川博総長をはじめ、当時の先生方は錚錚たるもので、憲法は川口是先生、倫理学は梅原猛先生、ドイツ語は今の大阪外大開校以来の秀才と言われた牧祥三先生、演劇論は山本修二先生、地理学は谷岡武雄先生、地学は江原真吾先生、英文学史は石田幸太郎先生、英詩概論は所勇先生、特殊講義は永原誠先生などであった。大切なことは忘れたが、牧先生の

「勉強しすぎて、座るために使っていた畳が腐った」話や、憲法の川口先生が「レポートの要領は、女の子のスカートの長さにしてください。短すぎてもダメ、長すぎてもダメ。魅力のある長さにしてください」とおっしゃっていたことが思い出される。みんな真面目に、静かに聞いていた。そんな良き時代であった。

1955年11月3日体育祭をとらえた航空写真
(三嶋忠さん提供)



ラウンドで展開している体育祭の様子が翼下に見えてきました。高度二〇〇mの低空で旋回、下で手を振る皆の真ん中に通信筒とビラを投下、三周グラウンド上空を旋回、翼をバンク(上下に振る)させながら空路八尾空港に着陸しました。故末川総長を懐かしく思い出しながら当日の貴重な写真を見ております。



放送局(RBC)の学生たち



1962年11月関西六大学野球秋季リーグ優勝



法学部田村悦一ゼミ



1970年卒同窓会

の巻



1月18日から19日にかけて、伊勢志摩ロイヤルホテルにおいて、泊まりこみで和気藹々と行われたこの会。

参加メンバーの松井真善さん（'70法・皆さん同じなので以下略）による場の再現があんまりすばらしいので、これはもう、敢えて編集子がお邪魔な文を書くのは止めにいたします。

☆憎い演出？

「田村先生と奥さんとここに集まったメンバーと今日来れなかったみんなの健康を祝してかんぱーい！」という音頭でこの会は始まった。奥さんと娘さんを連れて来ている人もいる。

幹事がこっそりCDを流す。曲はスパイダースの「夕日が泣いている」。一同、三五年前の京都にタイムスリップ。時代は学園闘争真っただ中。

一人が「こんなものがあつたと取り出したのは、ゼミ結成当時の小冊子だ。アンモニア焼きで今にも色あせしそう。『平野、よくこんなものあつたなあ』『おい！光に当てるな！』ゼミに望むこと『の欄「死にもの狂いで法律を勉強したい』？『誰やこんなキザなこと書いたのは？』『中西！お前どの欄もナシ、ナシやんか（爆笑）。

☆やかましいっただらありやしない

誰かが卒業アルバムを持ち込んだ。「寺前、お前全然変わらんなあ」「俺、あれから御所へ行つたらんのか？きれいやつたなあ」「東京から来た彼も完全に関西弁になっている。すると別な隅で喚声が上がった。現われた時には仕事の色を青白く顔に刻み込んでいた彼ではないか。

☆時期が熟したんだ

我らが憧れ末川博元総長の人生三分論、その第三段階に皆が差し掛かった。二五歳までは学びの期間、五〇歳まではそれを

☆田村悦一先生を囲んで

社会に返す期間、五〇歳過ぎたら自分のために生きるというあれだ。五五歳、自分を見つめる時期になってやっとなつた僕達だ。



☆会場がこれまたいい

昨秋まで、会場伊勢志摩ロイヤルホテルの支配人をしていた清田健一君がもう一人の主役である。「彼がいなかったらこの会をやるうなんて思わなかったよ」とは今回の幹事長中西君の弁。全国に散らばるダイワロイヤルホテルグループ、「立命の人なら面倒みるよ」と清田君。今度は長浜ロイヤルホテルでやるうよと、早速声が上がっていた。





◀「政策科学部IT化の歴史展」。
各期の学生必携パソコンが懐かしさを誘う。



一九九四年に誕生した政策科学部。九八年卒の一期生を頭に、五期生まで、卒業生は既に一八〇〇人弱にのぼります。普段からホームページやメールマガジンを通じて強い絆を保っているのですが、来年の学部創立二〇周年を前にして、顔を合わせて景気づけよう！と盛り上がりました。新井弘徳会長（98）をはじめとする洋学会幹事や、有志でつくる実行委員会のメンバーが立ち上がり、昨年六月から様々な準備を重ねてこの日を迎えました。

当然ながら、みな二〇代！そして女性も多い！あちこちから「あーっ、ひさしぶりー」と、まるで何十年振りかのような声が聞こえます。社会に出て数年間、揉まれることが多い中で懸命に過ごし、長い時間が経ったように感じているのかもしれませんが、先生方も近況を語る教え子たちの姿に目を細めます。「他学部と同窓会をうらやましく思っていたので、今日はとても嬉しく心強いです」と喜ぶ水口憲人・現学部長。そして山口定・初代学部長からは「今の時代、政策マインドでは物足りない。政策魂に発展させよう」と力強い励まし。

歓談のさなか、卒業生から集めた在学中の映像や写真をまとめた作ったビデオが映されると、画面の中に自分や友人の姿を見つけて

皆が沸きます。同じく卒業生提供の景品が当たる大抽選会では、高級（？）品が掲げられた時にはサツと注目を集めた現代っ子ぶりを発揮していました。

「とても興味をもって来ました」と語る一期生の女性。広島・岐阜から来たという友達と一緒に。若者にとっても、やっぱり最高のご馳走は友の顔であるのです。そして

「グレート・立命」が流れると、みんな自然に体を揺らすのも同じです。若い集まりの中で、世代を問わない立命魂をたくさん見つけた、お邪魔でした。

◆新井弘徳会長の話

メールマガジンに参加予定者からの呼びかけメッセージを流したり、広く各企画準備に関わってもらえる仕組みを作ったりしたので、皆の参加の機運が高まり、成功につながりました。今日は皆さんの愛校心の強さを改めて感じ、同窓会という場を設けることは重要だと再認識しました。現役学生に手伝わなくても、ええことも今後に向けての収穫でした。これからの様々な縁を大切にして、同窓生のニーズに合った誰もが参加しやすい会を、一回、二回、三回と続けていきたいと思います。



▲「同窓生出品大抽選会」壇上の入江真也さん（左）と新井会長（右）



政策科学部 同窓会

の巻

おじゃまします！



政策科学部洋学会が、1月25日、待望の第一回同窓会を開催しました。ホテルグランヴィア京都 源氏の間に、なんと卒業生の7人に1人、約300名が大集合。一番若い学部の、若者いっぱいの同窓会ってどんなふう？ ということで、お邪魔してみました。



政策科学部同窓会洋学会 <http://www.ps.ritsumeai.ac.jp/alumni/>

SHIN

平岡紫綾

新、進、伸、芯、深、信・・・真、心。
一瞬の中にたくさんの「SHIN」があります。
時間が流れて色褪せる作品ではなく、時を重ねる
ごとに想いがこもっていきます。
私の初作品。私の写真の原点。白黒の世界への憧れ。
ありふれた毎日が、特別になるように。

京都駅中央改札口前通路。何気なく見上げた毎日の
通過点。いつもと違って見えたその日から、そこは
私の「特別」になりました。

どんな物事にでも、見方を変えればいろんな意味が
あるのだということを知ります。そんな身近なもの
から得られる発見の喜びが、私にシャッターを切ら
せるのです。

二度と逢えない一瞬を永遠にするために。



立命館大学写真部 平岡紫綾（経営新卒生）

折り鶴

八木 光恵 (92歳)

修学館かたわらの南門を出ると、等持院の庭に沿って下る道にプラタナスの高木が数本ある。秋が深まると、丸い実が鈴をかけたように垂れ下がり、子供の手のひら大の葉が紅葉する。それが朝な夕な陽を受けている様は夢のような世界を見せてくれる。私のアパートはこの道をたどって数分の所にあつた。

五〇代半ばで法学部に入学したもの、家族を神奈川県においての出遅れた大学生生活は、勉学の志の高さと反比例にホームシックにとらわれた寂しい单身生活だった。

通学途中にいつも出会う老人がいた。リハビリのために散歩と折り紙を日課にしていた。葉の包み紙や広告の紙を正方形に切り、一羽に三〇分もかけて指の先程の鶴に折る。鶴は今にも飛び立つような毅然とした意志を秘めていた。老人は負けず嫌いをバネに鶴を折るようになって麻痺が改善し、「医者もびっくりしてるのや」と歯のない笑顔を見せた。

その老人に紅葉したプラタナスの葉を二枚「きれいのお裾分けです」と言ってお上げた。ところが私の卒業が近付いた頃、老人はその葉の先に一羽ずつ鶴を糸で下げた「作品」をプレゼントしてくれた。しかも鶴は金や銀の光沢を放ち卒業の祝意を表している。

「作品」を帰郷した自室に飾った。鶴のかすかな動きにふと目が止まると、老人の生への意志こそが代え難い学問であつたと述懐し、京都での憂いを伴った生活に彩りを添えてくれたことを深く感謝するのである。

日記からエッセイへ

松山 徳仁 (89歳)

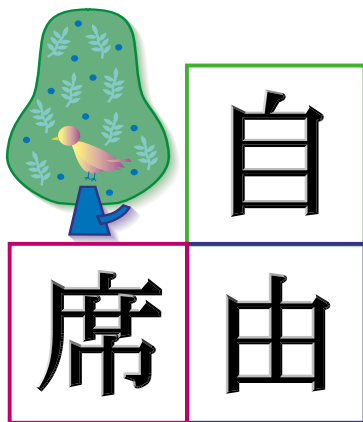
これまで一度も日記というものを続けて書くことが出来なかった。今年こそはと意気込んで、立派な日記帳を買ひ、元日だけは気張って書くのだが、その後が続かない。「三日坊主」よりもひどい状況だった。

それが、約一年前から、小さな手帳サイズ

のノートに書き綴っているものは「日記」と言っても毎日書く訳ではなく、思いついた時に好き勝手なことを書くぐらゐの気持ちで始めたのだが、妙に気負わずに続けることができ、とうとう一冊のノートを書きつづしてしまった。

持續できた最大の理由は、愚痴や人の悪口などはあまり書かず、なるべく楽しい出来事やその時々興味関心事を書くようにしたことだと思ふ。そのようなことだけ書いたノートは、後で読み返してみても楽しい。

二冊目になる手帳からは、少し趣を変え、簡単なタイトルをつけたエッセイ風の短文を書くようにしている。やがてこの手帳を書き



つづいた時、一編のエッセイ集として多くの人に読んでもらえることを理想として、少しずつだが一日一作、書きためていくようにしたい。

「コトがなければムダ」では被害は防げない

久保 之俊 (66歳)

阪神・淡路大震災の日を迎えるたびに、私は一人の卒業生とその家族のことを思い出す。

私はバブル全盛期の「超売り手市場」時代に、本学就職部で進路指導を担当していたその時、出会ったのが米秋元俊君 (85歳) である。彼は四回生早々に大手専門商社に内

定したが、「就社でなく就職を」と適職追求、キャリア志向を貫徹し、数ある選択肢から中堅企業を選んだ。そして神戸勤務となり悔やみきれない運命と遭遇し、夫人、長女ともども不帰の客となった。幸いにも瓦礫と猛火の中から奇跡的に救出された長男 (当時生後七ヶ月) は、高岡市の祖父父母のもとで献身的な愛情にはぐくまれ八年目の春を迎えた。

大地を震撼させた恐怖の朝から、私たちは何を学ぶのか。「命の大切さを語るの」は一月七日だけ」ではない。消せないもの、風化させてはならない体験・教訓の継承こそが肝要である。防災専門家を育成、被災者を支援し災害対策を専門に研修できる「人と防災未来センター」が神戸に完成した。こうした絶好のチャンスは今こそ生かさなくてはならない。また若者が集う学園では、命を守る「攻めの防火・防災」に日常的に取り組むことこそ、今、もっとも重要なことであり、米秋君をはじめ多くの御霊に報いることではあるまいか。「コトがなければムダ」は通用しない。「災害は必ず発生する」からスタートすべきである。

自転車通勤の贅沢

賀茂むすめ (99歳)

「今年の冬は例年より寒い」天気予報でよく聞くこの言葉を初めて実感している。昨年は朝雪のために自転車通勤をあきらめることはほとんどなかったが、今年は何度あきらめたことが。

自転車通勤を始めて二年。日々の天気や季節の変化に敏感になり、よく空を見上げるようになった。天気は毎日変わるし、空気の匂いも季節によって違う。春の桜の頃、夏の日差し、秋の紅葉、冬の凛とした空気。四季の移り変わりを肌で感じながらの通勤は、当たり前のことなのだけれど、何となく贅沢をしている気分なのである。季節はこれから春に向かう。今年はいつ頃春を感じることが出来るだろう。

》アメリカンフットボール日本選手権‘ライスボウル’優勝《

おめでとうパンサーズ 念願の日本一!!

創部50年目の今年、
アメリカンフットボール部パンサーズが見事栄冠を勝ち取った。
1月3日、東京ドームのスタンドを埋めたえんじの一群は、
待ち望んだ勝利の喜びに沸き上がった。

🐾 堅いディフェンス 終盤猛攻

対戦相手は、ディフェンスに強力な立命OB3名を擁する社会人王者のシーガルズ。

パンサーズは先取点を奪ったものの、その後は取られ、取り返す緊迫した展開に。前半終了時には3点を追う立場だった。第3クォーターで同点に持ち込み、いよいよ第4クォーターに。華麗なパス&ランプレーでタッチダウンを奪うと、その直後にはディフェンス陣が相手のパスをインターセプト、そのまま走ってまたもタッチダウン。パンサーズは堅い守りとリズムカナルな攻撃で流れに乗り、第4クォーターだけで23点を奪ってシーガルズを圧倒、勝利をもぎとった。

なお、最優秀選手に贈られるポール・ラッシュ杯は、LB八木康太君(経営3)が受けた。

立命館大学 36-13 シーガルズ

🐾 校友も盛んに応援

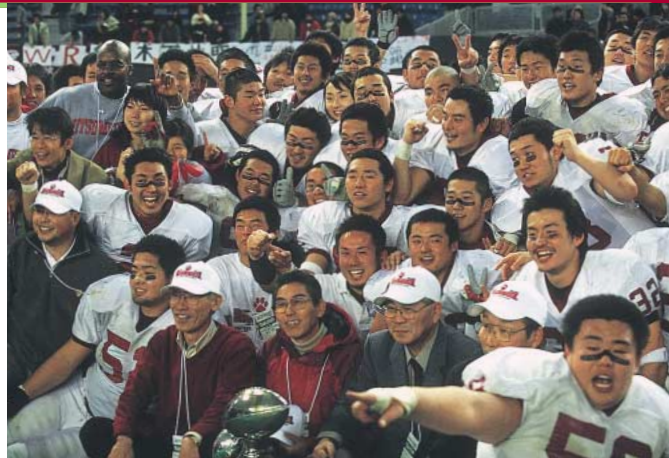
小雪の舞う中、東京ドームに集まったファンは2万5千人。立命館関係者が陣取ったスタンドには河原四郎会長('56経済)、岡泰造副会長('58経済)はじめ、校友会メンバーもたくさん駆けつけ、声援を送った。パンサーズOBのプロフットボーラー河口正史さん('97国関)も、「自分たちが手にできなかったトロフィーをよくそ取ってくれた。おめでとう」と、後輩を称えた。



喜びの河原会長(右)、岡副会長(右から2番目)



千葉県校友会が校友パワーの存在感をアピール



喜びの声 古橋由一郎ヘッドコーチ(89文)



今シーズンはオフェンスが頑張って勝ち進んできたので、今日はディフェンスが活躍するゲームにしかかった。それをこれだけよくやってくれるとは、素晴らしい選手たちです。ご声援本当にありがとうございます。来季も連覇を目指します。

喜びの声 磯谷幸始主将(経営4)



最後まで気持ちを切らずにプレイできてよかった。昨春以来、厳しさのあるチーム作りを心がけてきましたが、内心、皆がバラバラになるのではという不安や辛さもありました。だから今日の勝利は本当に嬉しい。

こちらも新春のおめでたい話題です

齊藤裕理さん('02法) かるたクインに

1月4日近江神宮で行われた「小倉百人一首かるた第47期クイン位決定戦」に、本学かるた会OGの齊藤裕理さんが勝利した。昨年まで11連覇の渡辺令恵さんを見事な逆転で退け、唯一獲得できずにいたクイン位を手中にした。正確に直接取り札1枚ずつを狙う、地道で美しいかるたが理想だという齊藤さんは、自分のスタイルの確立と次の勝利に向けて意欲を新たにしていた。



校 友 会 ネット ワ ーク

昨年12月～本年2月中旬に行われた各団体の行事です（判明分） ＊詳しくは校友会ホームページをご覧ください <http://www.ritsumei.ac.jp/kic/741/>

■ 静岡県校友会総会

12/1（日）、クーポール会館（静岡市）にて開催。参加者約90名。

■ 鹿児島県校友会総会

12/1（日）、鹿児島サンロイヤルホテルにて開催。参加者約50名。

■ 立命館宇治高校同窓会

12/1（日）、立命館宇治高校新校舎にて開催。参加者約100名。

■ 村上弘ゼミ同窓会

12/7（土）、アカデメイア立命21にて開催。

■ 国際関係学部校友会

12/14（土）、ファリンヌドール（木屋町三条上ル）にて開催。参加者約70名。

■ 栃木県校友会総会

12/21（土）、宇都宮東武ホテルグランデにて開催。参加者約30名。

■ 建設会三重県支部総会

1/17（金）、賢島宝生苑にて開催。参加者約45名。

■ 建立会総会

1/18（土）、ヴィアーレ大阪にて開催。参加者約220名。

■ 1970年卒田村ゼミ同窓会

1/18（土）、伊勢志摩ロイヤルホテルにて開催。参加者約25名。

■ 京都春風会

1/18（土）、衣笠キャンパス校友ロビーにて第2回目のイベントを開催。参加者30名。

■ 富嶽会総会

1/19（日）、ぬまづ軒（沼津市）にて開催。参加者45名。

■ 香港校友会総会

1/22（水）、道楽茶屋（香港コーズウェイベイ）にて開催。参加者14名。会長が寺沼忠氏（'65経済）から遠藤哲氏（'69産社）に交代した。



香港校友会総会

■ 北海道校友会総会

1/25（土）、札幌パークホテルにて開催。参加者約50名。

■ 浜松会新年賀詞交歓会

1/25（土）、ホテルコンコルド浜松にて開催。参加者約60名。

■ 愛媛県校友会松山支部新年会

1/25（土）、メルパルク松山にて開催。参加者46名。

■ 政策科学部同窓会

1/25（土）、ホテルグランヴィア京都にて第1回同窓会を開催。参加者約300名。

■ RGSセミナー（東京中高年の会）

1/30（木）、虎ノ門バストラルにて開催。参加者約60名。

■ 将棋部OB会王座戦優勝祝賀会

2/1（土）、くに荘（上京区）にて開催。参加者58名。

■ 姫路立命会総会

2/8（土）、姫路商工会議所にて開催。参加者60名。会長が中治信夫氏（'49専法経）から尾上誠一氏（'58経済）に交代した。

■ 蒲郡立命の会

2/8（土）、ホテル竹島にて開催。参加者16名。

■ 京田辺立命館クラブ総会

2/9（日）、魚茂にて開催。参加者47名。

■ ダイワハウス 東京立命会設立総会

2/10（月）、京町家（飯田橋店）にて開催。参加者15名。



京田辺立命館クラブ総会

■ 卓球部OB会（えんじ会）懇親会

2/11（火）、ホテルニュー日昇（東山区）にて開催。参加者75名。

■ UFJ銀行立命会

2/12（水）、素材屋（東京・大手町）にて開催。

■ 愛媛県校友会宇摩支部

2/14（金）、グランフォーレ石松（伊予三島市）にて開催。参加者40名。

■ 岡崎市役所わだつみ会

2/15（土）、衣笠キャンパスにて開催。

■ 福井県上中町校友会総会

2/15（土）、いち福にて開催。参加者約20名。

■ 北朋会総会

2/15（土）、ライフオート札幌にて開催。参加者22名。

■ 湘南クラブ

2/15（土）、ホテル好養（鎌倉市）にて開催。参加者約30名。

■ 宮津与謝校友会の集い

2/16（日）、ホテル丹後にて開催。参加者25名。

※ 立命館ファミリーカード会員の方は、割引の特典がございます。

[立命館オリジナルグッズ] 通 信 販 売

クレオテックホームページリニューアル!

立命館オリジナルグッズがお買い求め易くなりました。弊社ホームページからの申し込みが可能になりましたので、是非ご覧ください。

<http://www.creotech.co.jp>



●新商品

好評の「立命館名入りセラミックボールペン（細）」に
新色（シルバー）が加わりました。

■ 全 長：141mm、直径：φ13mm ■ 京セラ製

立命館ファミリーカード会員価格

一般価格

¥800

¥950

※4月1日から順次発送させていただきます。



●特別企画商品

「Ritsマーク刺繍入り フリースクッション兼膝掛け」

■ 素 材：本体・中綿 ポリエステル100%

■ サイズ：クッション 37cm×37cm

膝掛け（ファスナーオープン部）100cm×140cm

立命館ファミリーカード会員価格

一般価格

¥1,800

¥2,000

※価格はいずれも税別にて表示させていただいています。



広げると
膝掛け
になります

●オリジナルウェア&グッズを作りますか?

北海道校友会（下村 一会长）の有志
20名様からゴルフ用のウインド
ブレーカー、ポロシャツ（2色）、
キャップをセットでご注文い
ただきました。この場をお借り
しましてお礼申し上げます。



通 信 販 売
お申し込み・お問い合わせ先

〒603-8353 京都市北区平野上八丁柳町28 (株)クレオテック「ショップリベルテ」

TEL. 075 (463) 9740
FAX. 075 (465) 5697

立命館ファミリー

立命館ファミリーJCBカード

JCBゴールドカード ゴールドの名にふさわしい価値を備えた国際カード

JCB グランデ ショッピングにも旅行にも保険がついた、ひとつ上の安心をプラスしたカード

JCB一般カード 多彩な機能とサービスを兼ね備えた、日本を代表するカード

年会費等のご案内（すべて消費税別）

	JCBゴールドカード	JCB グランデ	JCB一般カード
本 会 員	10,000円	2,500円	1,250円
家 族 会 員	1名様無料 (2人目より1名様につき1,000円)	1,000円	400円
お 申 し 込 み 資 格 ・ 対 象	<JCB会員になられている方> 原則として30歳以上、JCB入会 歴3年以上、利用実績のある方 JCB会員規約を遵守されている方 <JCB会員になられていない方> 年齢30歳以上、年収500万円以 上で勤続年数5年以上（自営業の 方は営業年数10年以上）	18歳以上の安定継続 収入のある方	18歳以上の安定継続 収入のある方、 または高校生を除く 18歳以上で学生の方

ファミリーカード固有の機能に加えて、以下の特典も受けられます。

国内サービス

- 全国36ヶ所のリゾートが特別料金
- 映画館でも割引料金(各種優待サービス)
- 全国50万店以上で使える(JCBギフトカード)
- 素敵なプレゼント(Oki Dokiポイントプログラム)
- 東京ディズニーリゾートでもJCBカード1枚でOK

海外サービス

- 世界主要都市で日本語であなたをサポート
(JCBプラザ/JCBデスク)
- JCBお得な海外情報パンフレット
(JCBショッピング&ダイニングパスポート)

[立命館オリジナルグッズ] 通 信 販 売 お申し込みのご案内

お 申 し 込 み 方 法 ハガキまたはファックスに、住所、氏名（フリガナ）、年齢、電話番号、立命館ファミリーカード会員番号、カード有効期限、商品名、数量、金額、お届け先をご記入のうえお申し込みください。

お支払い方法について 立命館ファミリーカード会員の皆様は、カード払いがご利用いただけます。※お申し込み時に必ず明記してください。

一般の皆様は、商品到着後「郵便払込み」にてお支払いください。

お 届 け に つ い て 商品は、当社がお申し込みを受け付けてから約2週間でお届けいたします。

送 料 に つ い て ご注文毎に1ヶ所のお届け先につき、送料を申し受けます。

カード会員募集!

立命館ファミリーVISAカード

VISAゴールドカード より快適な人生を過ごしたい方にふさわしいカード

VISAカードA 便利さに安心をプラスした保険付きのカード

VISAカード 世界中で信頼がいきるカード

年会費等のご案内 (すべて消費税別)

	VISAゴールドカード	VISAカードA	VISAカード
本会員	10,000円	1,500円	1,250円
家族会員	1名様無料 (2人目より1名様につき1,000円)	550円	400円
お申し込み 資格・対象	原則として満30歳以上、 年収500万円以上で勤務(営業)年数5年以上	20歳以上の安定継続収入のある方	20歳以上の安定継続収入のある方、 または高校生を除く20歳以上で学生の方

ファミリーカード固有の機能に加えて、以下の特典も受けられます。

- お得** ご利用に応じたポイントでプレゼント
アウトレットショップでもさらにお得なお買い物
- 便利** 高速道路の料金所もスピーディにパス
フリーダイヤル一本で国際線航空券、海外ホテルを手配
ご希望のチケットを電話一本でご予約、お届け
国内リゾートホテルにご優待
- 安心** 世界中で日本語のサービス&サポート
カードの紛失・盗難の際も安心
カードで購入された商品の万一を補償
リボ払いのご利用でさらに安心
ニューヨークでハワイであなたの旅をお手伝い
国内で海外で現金をご用立て



1994年から、卒業生の皆様をはじめ多くの立命館関係者の要望に応え「立命館ファミリーカード」が発行されています。

このカードは、オール立命館のネットワーク作りの一端を担い、校友・学生・教職員相互の、また皆さま方と学園の絆をより一層緊密なものとするを目的としたものです。

「立命館ファミリーカード」は三井住友VISAカードとJCBカードの機能に「立命館ファミリーカード」の固有の機能が加わったカードです。校友の方々を中心に多方面から多彩な優待・サービスの提供をいただいております。カードを通じて素敵な出会いが生まれ、新たな絆が結ばれることを願っております。

皆様方に愛着をもってご利用いただけるよう、なお一層努力してまいりますので「立命館ファミリーカード」をよろしくお願ひ申し上げます。

- カード特典**
- 立命館オリジナルグッズの特別割引
 - ファミリーカード優待店での優待サービス
 - JCB、VISAのカードサービスもそれぞれご利用になれます

☆立命館ファミリーカードは提携手数料収入の20%を後輩のための奨学金に充てます。
もちろん会員の方の特別のご負担はありません。

- 優待店加盟のお申し込みも随時受付けております。
詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

優待店 立命館ファミリーカード (株)クレオテック
お申し込み・お問い合わせ先 「立命館ファミリーカード」係
〒603-8353 京都市北区平野上八丁柳町28
TEL. 075 (463) 9197 FAX. 075 (465) 5697

各種情報満載のクレオテックのホームページをご覧ください!

<http://www.creotech.co.jp> リニューアル!

●ときめきの宿 ふるさとネット

■ 下記の宿が2003年1月より入会されました。

[長野県・車山高原] ペンションTOSS(トス)

〒391-0301 長野県茅野市ビーナスライン車山高原
TEL. 0266-68-3060 FAX. 0266-68-3061
1泊2食 7,500円より(消費税別、サービス料不要)

アクセス JR中央本線茅野駅よりバス50分車山高原下車徒歩25分。
車山高原バス停へ送迎有

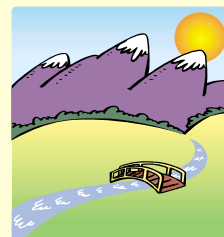
[長野県・乗鞍高原温泉] 詩季の宿 白樺の庄

〒390-1512 長野県南安曇郡安曇村乗鞍高原温泉
TEL. 0263-93-2357 FAX. 0263-93-3119
1泊2食 9,000円より(消費税別、入湯税別、サービス料不要)

アクセス JR中央本線松本駅より松本電鉄30分
新島々バス50分檜の木坂下車すぐ前。

■ 下記の2宿が2003年3月31日に退会いたしますのでご通知いたします。

三重県・賢島 かしこ博浜、三重県・鳥羽 答志島 ペンション小浜



世界水準をめざす本学の三分野三件の研究が、昨秋の21世紀COEプログラムに採択されました。三件の採択は、私立大学では早稲田・慶應義塾の各五件につぐ三位、国立大学を含めても二位で、本学にとって輝かしい成果となりました。



研究部長 佐上 善和
Yoshikazu Sagami

21世紀COEプログラムとは

大学における研究・教育は、わが国においてどのような役割を果たすべきか、このことは今や国民的関心事といえます。グローバル化が進んだり、国内の政治・経済の見通しが不透明な中、大学がソリューションを提示し、来るべき社会へのブレイクスルーにつながる役割を果たすことが必要とされています。このような認識の中、文部科学省は大学における研究・教育の改革のため、一昨年来、思いきった政策を実施しています。例えば、二〇〇一年六月に遠山文部科学大臣が示し、報道でも大きく取り上げられた「遠山プラン」では、①国立大学の再編・統合を大胆に進める、②国立大学に民間的発想の経営手法を導入する、③大学に第三者評価による競争原理を導入する、



ry Center of Excellence Program

と立命館大学の研究活動



入する、という方向が示されました。この具体化として、国立大学の法人化や統廃合の決定とともに、「国公私トップ30を世界最高水準に育成する」ことが決められました。その施策が「21世紀COEプログラム」です。

21世紀COEプログラムとは、専門家が大学の研究・教育計画を第三者評価し、世界水準をめざすことができると判断した拠点に対し、研究費を重点的に配分するというものです。二〇〇二年度は既報の通り、予算総額一八二億円、採択は五〇大学一一三拠点となりました。本学で採択された三拠点には、単年度合計四億八六〇〇万円が交付されました。

立命館大学と

21世紀COEプログラム

二〇〇二年度、本学ではこの施策の方向が示されるとただちに、「21世紀COEプログラム全学推進委員会」を設置し、採択に向けた準備を始めました。研究の個性化・特色化を進め、世界水準の研究水準を目指そうと取り組みを進めてきた本学にとって、21世紀COEプログラムはまさにタイムリーな制度です。採択されることによって獲得される資金は、これらの取り組みをいっそう前進させることにつながるものとして、全学あげて申請・採択に向けた検討を行いました。二十数件の提案があった学内のコンペを経て本学が申請したのは、二〇〇二年度募集された五分野に六件でした。

21世紀COEプログラム

採択の意義

本学についての採択結果は既述の通りです（採択された研究の内容は24ページを参照下さい）。複数件が採択された私立大学は早慶・立命館の三大学だけでした。

21世紀COEプログラムの採択をめぐる

の社会的関心は、たくさんさんの報道の通りです。「選ばれたトップ30」「やはり国立偏重」などと紙面をにぎわしています。しかし今回の採択について、本学としては次のように考えています。

まず第一に、本学が第四次、第五次長期計画で取り組んできた研究活動重点化の方向が評価されたということです。今回採択された三件は、いずれも本学が第四次長期計画以来取り組んできた研究重点化を基礎とした研究・教育計画です。理工学部のBKC移転・拡充、産官学共同の推進、アイト・リサーチセンター、SRセンター、VLSIセンター、マイクロシステム技術研究センターなど、重点分野の研究拠点の設置・整備、文理融合の研究推進等の取り組みが功を奏したといえるでしょう。

第二に、国立大学に伍して評価・採用されたことの意義は大きいものと考えています。21世紀COEプログラムの審査は、教員の論文執筆数、学会発表数、受賞数、外部からの研究資金の確保状況、課程博士輩出数など、数値データが大きな比重を占めました。しかし研究をめぐるのは国公立間の条件の違いは明確であり、もともと競争基盤が異なっているため、「審査基準は私学には不利」といわれていました。例えば、政府の研究費である



21st Century

21世紀COEプログラム

各大学のCOE採択件数一覧

11件	東京・京都
7件	名古屋・大阪
5件	東北・慶應義塾・早稲田
4件	北海道・東京工業・九州
3件	立命館・筑波
2件	東京農工・東京外国語・横浜国立・豊橋技術科学・奈良先端科学技術大学院・広島
1件	帯広畜産・秋田・群馬・お茶の水女子・長岡技術科学・信州・名古屋工業・岐阜・金沢・神戸・鳥取・愛媛・佐賀・長崎・熊本・宮崎医科・静岡県立・大阪府立・大阪市立・姫路工業・青山学院・北里・国学院・上智・玉川・中央・東海・日本・法政・愛知・名城・近畿



二〇〇三年度には、「医学」「数学、物理学、地球科学」「機械、土木、建築、その他工学」「社会科学」「学際、複合、新領域」五分野の募集が行われます。本学はこのうち「医学」を除く全ての分野で申請できるよう、準備を進めています。本学の研究活動に対するご理解、ご支援を、引き続きよろしく願っています。

二〇〇三年度の申請に向けて

「科学研究費補助金」は、年間予算約一七〇〇億円ですが、その内の七二％は国立大学に配分されており、私立大学には一四％しか配分されていません。また博士後期課程の学生数も私立大学は国立大学の三分の一に過ぎません。研究費や大学院生教育に潤沢に国費を投入してきた国立大学と、学生の学費に多くの財源を依存する私立大学では「研究基礎体力」がもともと異なっているわけです。そのような中で、本学が国立大学のトップクラスに次ぐ採択件数を得たことには大きな意義があります。本学は、学生の授業料を研究費に投入することには限界があるとの考えから、研究費を公的資金、産官学連携の中で獲得するなど、私立大学としての工夫を凝らしてきました。これらの努力の結果生み出された研究成果・水準、計画が、有力国立大学に匹敵するものとの評価を得たことで、本学の研究部門は大きな確信を得ることができました。

●採択された三つのプロジェクト

生命科学分野

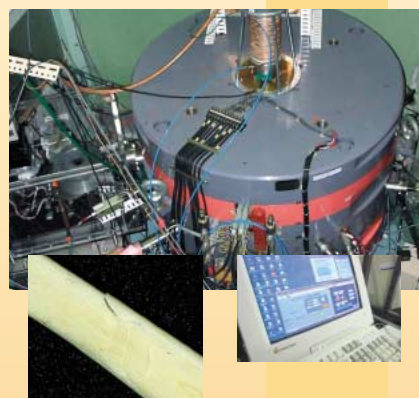
放射光生命科学研究

【拠点リーダー】 理学研究科総合理工学専攻 理工学部電子光情報工学科 山田 廣成教授



山田教授が開発に成功した世界最小シンクロトロン「みらくる」や超伝導シンクロトロン「AURORA」を使い、医療や生命科学分野の発展に役立つ研究が進められている。これらの装置から発生する遠赤外線やX線は非常に輝度が高く、通常のレ

ントゲン装置では発見できない一ミリ以下のガンを発見できたり、遠赤外線でタンパク質の機能や性質をコントロールしてガン細胞の成長をストップできるのではないかと期待されている。



人文科学分野

京都アート・エンタテインメント創成研究

【拠点リーダー】 文学研究科文学専攻 文学部史学科 川嶋 将生教授
【サブリーダー】 理工学部情報学科 八村 広三郎教授



川嶋将生教授



八村広三郎教授

歴史豊かな京都の文化や芸能などを、最先端のデジタル技術を利用して保存し、その情報をWEBで世界に向けて発信しようという文理融合の取組みが展開されている。例えば、能楽や日本舞踊などの動きをデータ化して海外の民族舞踊と比較・研究

したり、歴史的な絵巻に描かれている古都の様子をバーチャルリアリティ技術を駆使して三次元で再現することにより、古都のまち並みを疑似体験し、まち行く人々と話ができたりするシミュレーションシステムの開発も想定されている。



情報 電気、電子分野

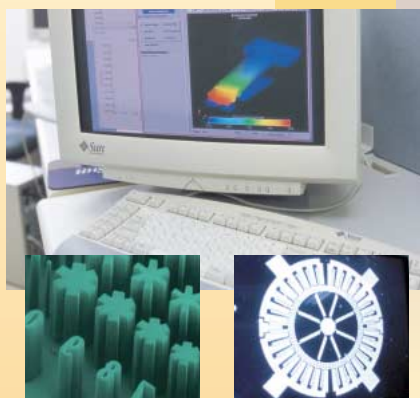
マイクロ・ナノサイエンス・集積化システム

【拠点リーダー】 理学研究科フロンティア理工学専攻 理工学部ロボティクス学科 杉山 進教授



電子機器の頭脳として機能するICやLSIのチップ上に、微細加工技術によって作りあげたセンサーやモーター、ロボットアームなどの機械的な要素とワイヤレス通信やエネルギー変換要素を集積化し、まったく新しい機能を有するIC・LSIを開発しようというのがこのプロジ

エクトのテーマ。いわば数ミリ角のチップが、工場と同じ機能をもつようなもの。このチップが完成すれば例えばそれをカプセルにして飲み込むと体内の情報をセンサーが感知し、その情報をもとに適切な治療薬を合成して処置してくれるといったことも実現するかもしれない。



詳しくは立命館大学HPで「立命館ニュース」をご覧ください。

<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/koho/headline/index-j.htm>

大阪府教育委員会と連携協力協定締結

12月2日、立命館大学は、大阪府教育委員会と連携協力に関する協定を締結し、協定書に調印を行う締結式を、大阪市天王寺区の「アウィーナ大阪」で行った。

大阪府教委からは竹内脩教育長、網倉尚武教育監らが出席。本学からは長田豊臣総長・学長、本郷真紹高大連携推進室長、秋田典昭大学教育開発支援センター教授らが出席した。



長田総長は挨拶で、「創造的人材を育てることが求められる今日の大学教育において、高等学校教育の現場と多面的な連携を行うことはきわめて意義深い」と述べ、竹内教育長は「価値観の多様化が進行するなかで、高校教育のあり方を見なおす契機としたい」と本協定に対する期待を語った。

協定書にサインの後、具体的プログラムの進め方などについて意見交換が行われた。今後は、①大学生による学校現場でのインターンシップ及び教育活動の補助、②大学による高校生を対象とした学習機会の提供、③高校と大学の教員相互の交流・研修などを柱に取り組むことになっている。

スリランカのランル・ウィクラマシンハ首相 立命館大学での特別シンポジウムで講演

スリランカの和平構築の基礎を築いたランル・ウィクラマシンハ首相が12月6日来学し、特別シンポジウム「スリランカの和平構築 一紛争から開発への歩みと日本の役割」で基調講演を行った。このシンポジウムでは明石康日本政府代表（立命館大学客員教授）の講演や学生からの質問もあり、内戦後のスリランカ



の復興と日本の援助について、テレビ回線を通して、衣笠、BKC、APUの学生が熱心に聞き入っていた。

立命館大学大学院言語教育情報研究科、先端総合学術研究科および立命館アジア太平洋大学大学院アジア太平洋研究科、経営管理研究科 本年4月開設決定

標記の研究科について、12月11日、文部科学大臣により設置が認可された。

言語教育情報研究科（修士課程、定員60名）は、言語教育学コース・言語情報コミュニケーションコースの2コースを擁し、高度な専門知識をもった人材を養成する。

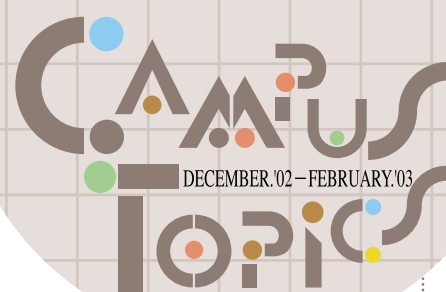
先端総合学術研究科（一貫制博士課程、定員30名）では、「公共」「生命」「共生」「表象」の4テーマを設定し、既存の学問領域の枠を越えるこれらのテーマの交差する部分に新しい研究領域を構想。人類全体にとっての諸課題の解決に向けた研究を進める。

アジア太平洋学研究科（博士課程前期課程、定員60名）では、「アジア太平洋学」の構築を担う人材の育成をめざし、博士課程後期課程（定員10名）も同時に設置する。

経営管理研究科（修士課程、定員40名）では、マネジメント・スキルを有した高度な専門的人材を育成する。

「立命館駐上海交通大学連絡処」開設

立命館大学・立命館アジア太平洋大学（APU）は、中国・上海での研究交流・国際教育協力展開のための窓口として、立命館上海オフィス「立命館駐上海交通大学連絡処」を、交流協定を結ぶ上海交通大学内に開設した。処長には、APU・アジア太平洋マネジメント学部守野友造教授が就任、オフィスの開設を記念して



12月20日に開設記念レセプションを開催した。この立命館上海オフィスは、講義交換の準備、学生・教員の交換の準備、理工系4研究領域および「環境」分野での学術交流の推進、そして本学に留学を希望する受験生や中国企業等との窓口機能などを担う。

アート・リサーチセンターが 「第4回デジタルアーカイブ・アワード」受賞

日本文化・芸術に関わる素材を、デジタル技術を駆使して保存、活用し、業績をあげていることを評価する「デジタルアーカイブ・アワード」賞



を本学アート・リサーチセンターが受賞した。

表彰式は、1月29日、京都市左京区の国際交流会館において開催された、IT技術の普及推進等に関するフォーラム「コンテンツフロンティアin京都2003」（京都デジタルアーカイブ研究センター主催）で行われ、本学から川嶋将生アート・リサーチセンター長が出席した。同賞は過去にアメリカ国立公文書館やNHK、奈良女子大学附属図書館などが受賞しており、今回は伝統芸能と情報科学の融合をはかり研究を進める同センターの取り組みが評価されたもの。

立命館大学・立命館アジア太平洋大学 入学試験・合格発表を実施

2003年度の入学試験が、2月2日を皮切りに全国20都市に設けられた試験場で順次行われた。初日だけで、全国12会場において約13,000名の志願者があり、緊張した面持ちで試験に臨んでいた。志願者数は昨年並みで、10万名を超えた。合格発表は2月19日に始まり、インターネットホームページ上にも掲載しているが、キャンパスの掲示板前では合格を喜ぶ受験生の姿が見られた。

S P O R T S & E V E N T

ス ポ ー ツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863



アイスホッケー部

■日本学生氷上選手権大会

(群馬県総合スポーツセンター伊香保リンク)
ベスト16

1月6日 ○4-2● 日本体育大学

1月7日 ●2-5○ 日本大学



日本体育大(青)のゴールにせまる立命館大(赤)



アメリカンフットボール部

■甲子園ボウル(12月15日 甲子園球場)

優勝(4年ぶり3回目の学生日本一)

○51-14● 早稲田大学

■ライスボウル(1月3日 東京ドーム)

優勝(初の日本一)

○36-13● シーガルズ

*関連記事を18ページに掲載



スケート部

■フィギュアスケート 全日本学生氷上競技選手権

(1月6日~9日 苫小牧ハイランドSC)

男子シングル 2位 吉田晋也(経済2)

■スピードスケート ショートトラック全日本距離別選手権

(2月15日~16日 名古屋市総合体育館)

女子 500m, 1000m 優勝 神野由佳(文4)



バレーボール部

■全日本インカレ(東京体育館他)

ベスト32

12月4日 ○3-0● 帝京大学

○3-0● 福井工業大学

12月5日 ●2-3○ 中央大学



フェンシング部

■全日本選手権

(11月28日~12月1日 伊東市立南中学校体育館)

女子団体 サブプル 3位

青木美奈(文2)、曾根知佐土(産社3)の両名は関西学生代表としてハンガリーのブタペストへ派遣される(3月6日~18日)。



長年の強化の努力が実りつつあるフェンシング部



ホッケー部

■全日本選手権(ルネサンス棚倉多目的広場)

男子 4位

12月5日 ●0-3○ 表示灯

12月6日 ○2-0● 島根クラブ

12月7日 △1-1△ 天理大学

12月8日 ●2-4○ 東京農業大学



ヨット部

■近畿北陸学生秋季選手権

(11月30日~12月1日 琵琶湖) 優勝

■日米学生親善レース

(12月1日~3日 Newport Harbor Yacht Club)



琵琶湖での練習に励むヨット部

女子優勝(男女総合2位)

伊藤友紀(経済4)・倉澤緑(政策4)組

■ナショナルチーム選考レース

(12月9日~15日 愛知県海陽ヨットハーバー)
女子6位 伊藤友紀(経済4)・松山紗世(産社2)組



ラグビー部

■大学選手権(熊谷ラグビー場他)

12月15日 1回戦 ●27-31○ 東海大学



埼玉県校友会の応援を受けて健闘したラグビー部



女子陸上競技部

■山陰女子ロードレース(12月1日 岡山市)

優勝 池田恵美(経営1) 学生日本新記録

8位 西垣優子(経済2)

■千葉国際クロスカントリー

(2月16日 千葉市昭和の森)

一般女子8000m 6位 池田恵美(経営1)

退職教職員紹介

誌面の都合上、経歴等は大学教員のみ紹介します。敬称略



◆教授

※副総長任期満了による退職

理工学部教授

田中道七（たなかつねしち）

＊副総長、理工学部長等を歴任

＊専門／材料強度学

材料の疲労強度、炭素繊維・金属新素材の強度評価に関する研究

法学部教授

中村義孝（なかもら よしたか）

＊キャリアセンター就職部長、衣笠リエ

ソンオフィス室長等を歴任

＊専門／フランス近現代法史、裁判制度史

フランス近現代社会の法制のうち、刑事裁判手続に関する歴史研究

産業社会学部教授

佐藤嘉一（さとう よしかず）

＊産業社会学部長、人間科学研究所長等を歴任

＊専門／社会学

日常生活世界の現象学・社会学的研究

国際関係学部教授

高橋正義（たかはし まさよし）

＊国際地域研究所長、大学協議員等を歴任

＊専門／国際協力論、技術移転論

産業競争力強化手法の研究及び産業・中小企業育成政策の研究

国際関係学部教授

大空 博（おおぞら ひろし）

＊大学協議員等を歴任

＊専門／国際ジャーナリズム論

現代史の転換期に果たした新聞・テレビ報道の役割に関する研究

政策科学部教授

杉森幹彦（すぎもり みきひこ）

＊言語習得センター副所長等を歴任

＊専門／応用言語学、英語音声学、英語教育学

外国語運用能力の測定と評価法の研究

異文化間コミュニケーション、英語科教育法の研究

理工学部教授

山田俊雄（やまだ としお）

＊数学課程主任等を歴任

＊専門／確率論

確率微分方程式論を主とする確率解析学の研究

理工学部教授

川畑隆夫（かわばた たかお）

＊電気電子学系系長等を歴任

＊専門／パワーエレクトロニクス

インバータの変調や制御の新方式とその応用システムの研究

理工学部教授

大瀧仁志（おおたき ひとし）

＊理工学研究所長、大学協議員等を歴任

＊専門／無機化学・錯体化学

溶液中の錯体の構造解析と反応の熱力学の研究

理工学部教授

池田光男（いけだ みつお）

＊理工学研究所長等を歴任

＊専門／色彩工学・視覚情報処理・視環境照明認識視空間の概念による視環境の最適化に関する研究

理工学部教授

濱川圭弘（はまかわ よしひろ）

＊副総長、総合理工学研究機構長等を歴任

＊専門／導体電子工学・太陽光発電

導体電子工学、特に半導体の界面物性とその機能デバイス、太陽光発電に関する研究

理工学部教授

川崎 清（かわさき きよし）

＊専門／環境デザイン・建築設計・都市設計・景観論

都市空間と景観のデザインに関する研究

◆助教

理工学部助教

三宅英一郎（みやけ えいいちろう）

＊専門／建築計画・環境デザイン

都市環境デザインにおけるコミュニティ施設の空間構成方法の研究

◆教諭

立命館宇治高等学校教諭

角田郁子（すみだ いくこ）

立命館宇治高等学校教諭

宮野則子（みやの のりこ）

◆事務職員

業務監督室

久保之俊（くぼ ゆきとし）

総務部

宮田芳彦（みやた よしひこ）

職員課

喜多美代子（きた みよこ）

立命館百年史編集室

橋本弘之（はしもと ひろゆき）

保健センター

三島隆昭（しみま たかあき）

管理課

藤本憲一（ふじもと けんいち）

管理課

陣在英純（じんざい ひですみ）

管理課

阿部百々代（あべ ももよ）

管理課

木野 勝（きの まさる）

国際関係学部事務室

田中道子（たなか みちこ）

大阪オフィス

青山征男（あおやま ゆきお）

衣笠学生センター

若井 勉（わかい つとむ）

総務管理センター

山下 弘（やました ひろし）

BKCメディアサービス課

磯部節子（いそべ せつこ）

立命館中学校・高等学校事務室

古山 正（ふるやま ただし）

文化・芸術

問い合わせ先：学生センター
075-465-8141



かるた会

■第47期クイン位決定戦

（全日本かるた協会主催・1月4日 近江神宮）
OG齊藤裕理（'02法） 優勝

＊関連記事を18ページに掲載



将棋研究会

■アマチュア将棋団体日本選手権

（2月15日 リコー大森会館）

準優勝 ●3-4○ ジュボン化粧品

2年ぶり2回目の出場でアマチュア日本一奪回ならず

《今後の行事予定》



応援団吹奏楽部

■スプリングコンサート

3月28日 京都市文化会館



マンドリンクラブ

■サマーコンサート

5月17日 京都こども文化会館



交響楽団

■定期演奏会

5月24日 京都コンサートホール大ホール



混声合唱団メディックス

■関西混声合唱連盟定期演奏会

6月10日 大阪フェスティバルホール



メンネルコール

■明立交歓演奏会

6月21日 長岡京記念文化会館

編集室から

＊「あかき血潮 胸に満ちて… 仰げば比叡 千古のみどり 伏す目に清しや 鴨の流れの…」の歌詞に、いかに多くの学生が、校友が、人々が、歓喜し、時に涙したことが。この正月の東京ドームは最大の歓喜に満ちた。すいぶん時が流れ、学生も住む人も移り変わってしまったが、昭和30年代から40年代にかけて（1955～75頃）広小路で学んだ輩は、御所の芝生の青さとともに、鴨川の堤での体育の時間に流れに落ちたボールを拾い仰ぎ見た比叡の山々のみどりを思い出すだろう。京都に降り立って、右に東山連峰・比叡、左に衣笠山を見るとき、山河の佇まいと「若人 真理の泉を汲みつ」姿は変わらない。荒神橋から鴨川を北に歩くと、この景色とともにに学生時代が鮮明に蘇る。 (Kaz)

＊文学、舞台芸術、そして音楽、美術の分野に至るまで、これまで多くの芸術家が会報に登場してきました。ただただ驚きと共感をキャッチして、お顔を写真に頂戴しております。取材の最中は会話の中身は耳に残りません。相手の一瞬の表情からインタビューの成功を予感します。立命館から造形芸術家が誕生していることに驚いた私は愚かでした。本学が、芸術家の芸術に対する根源的問い掛けに答える場になっていた、その歴史の証が、インタビューで大嶺さんの言葉に表れています。必見です。撮影という私の仕事は物を生み出すことは出来ませんが、この感動を伝えられる喜びがあります。今回もやはり「満足！」でした。 (オ)

自由席投稿募集

本誌「自由席」コーナーへ原稿をお寄せください。日常雑感、在学中の思い出、近況報告などをご自由に。原則500字程度。誌面の都合により一部割愛等させて頂く場合がございます。氏名・卒年・学部を明記の上、校友会事務局「りつめい」編集係へお送りください。ペンネームでの掲載をご希望の場合はお書き添えください。

りつめい登場校友募集

本誌にご登場いただける校友に関する情報を募集しています。自薦・他薦を問いません。新聞・雑誌等に掲載された記事をお送りいただくことも参考になります。特に近畿以外の地域における情報が不足気味ですので、ご協力の程よろしくお願ひします。

りつめい No.212／年4回発行

発行所／立命館大学校友会
編集人／尾崎 敬則
発行人／河原 四郎
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
Tel. 075 (465) 8120・8124
Fax. 075 (465) 8125
http://www.ritsumei.ac.jp/kic/741/

I N F O R M A T I O N

校友会・グループ インフォメーション

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
京都校友会総会	5/10 (土) 17:00	ウェスティン都ホテル京都(予定)	校友課 075 (465) 8120
天理わたつみ会総会	5/11 (日) 13:00	天理観光ホテル	酒谷庄兵衛 0743 (62) 0467
関東新人歓迎会	5/31 (土) 13:00	有明パナソニックセンター	東京オフィス 03 (5204) 8611
大阪地区新人歓迎会	6/ 7 (土) 13:00	大阪キャッスルホテル内「錦城閣」	大阪オフィス 06 (6201) 3610
経営学研究会OB会情報交換会	6/ 7 (土) 17:00	犬山館 (愛知県)	村松正樹 0564 (51) 9690
奈良県校友会総会	6/14 (土) 14:30	奈良県新公会堂	吉野正史 0744 (26) 6056
法学部同窓会	6/29 (日) 14:00	虎ノ門パストラル	法学部事務局 075 (465) 8175
ウリ同窓会	6/29 (日) 16:00	ホテルグランヴィア京都	ウリ同総会事務局 075 (315) 3434
香川県校友会総会	7/ 5 (土) 16:00	ホテルニューフロンティア	酒井成徳 087 (886) 9527
神奈川県校友会総会	7/ 6 (日) 14:00	崎陽軒本店	長谷川貞栄 045 (929) 6440
大阪校友会年次大会	7/11 (金) 18:30	南海サウスタワーホテル大阪	大阪オフィス 06 (6201) 3610
全国校友大会	11/8 (土) 17:00	ホテルグランヴィア京都	校友課 075 (465) 8120

校友消息 (判明分)

消 息

真枝俊雄氏 (‘66理工)
田中精密工業 (株) 専務
村中誠二氏 (‘69文)
マックスバリュ北海道 (株) 社長
中川 詔氏 (‘68理工)
高圧ガス工業 (株) 社長
江川隆生氏 (‘70経済)
兵庫県尼崎市収入役
芥川正次氏 (‘85経営)
滋賀県草津市長

訃 報

滝澤忠義氏 (‘45専工)
機友会中国支部会長。(株)
滝澤鉄工所相談役。2月4日
ご逝去。
高橋三郎氏 (‘50経済)
岩手県支部 (現・岩手県校
友会) 初代支部長。1月29
日ご逝去。82歳。

冷水良彦氏 (‘52法)
奈良県校友会前会長。12月
19日ご逝去。
富澤健吾氏 (‘56経済)
岩手県校友会前会長。1月4
日ご逝去。72歳。
小谷 進氏 (‘67理工)
京都校友会副会長。(株) コ
ーシン精機社長。12月14
日ご逝去。59歳。
福井 清氏
(本学名誉教授・元理工学部長)
12月3日ご逝去。91歳。
渡辺 明氏
(本学名誉教授・理工学部)
1月3日ご逝去。86歳。
島山直隆氏
(本学名誉教授・元理工学部長)
1月31日ご逝去。81歳。
津田紀年氏
(‘66院理・元理工学部助手)
2月15日ご逝去。62歳。

BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から
紹介させていただきます。

- ◆木下勇作氏 (‘68経済) 著
『如來が弁護してござる 曉
鳥敏 (小説) 満之・涙骨…』
文芸社 * 1 0 0 0 円
- ◆菅下清廣氏 (‘69経済) 著
『株で儲かる人の30の約束』
中経出版 * 1 2 0 0 円
- ◆市川 明氏 (‘70法) 著
『学校がおかしかった! 教員の
軌跡と感懐・三十年余の歩み』
かもがわ出版 * 1 9 0 0 円
- ◆富永公文氏 (‘79産社) 著
『松下加兵衛と豊臣秀吉一
戦国・松下氏の系譜一』
東京図書出版会 * 1 4 2 9 円
- ◆相野克己氏 (‘82経営) 共著
『小さな会社・つづきのルール・ラン
エスター経営7つの成功戦略一』
フォレスト出版 * 1 4 0 0 円
- ◆中島 愛氏 (‘97法) 著
『歌集 ここではない、どこかへ』
不識書院 * 2 5 0 0 円

価格は本体価格です。



2003年度モニター募集

『りつめい』各号内容についてのアンケート調査にご協力いただき
たいと思います。
期間は2003年7月号 (No.213
号) から1年間。
期間終了後粗品を進呈いたします。

葉書もしくはFAXに、住所・氏
名・卒年・学部・職業を明記の上、
5月9日 (金) 必着でご応募くださ
い。電子メール (アドレスは
alumni@st.ritsumei.ac.jp) での
応募も可能です。

〒603-8577
立命館大学校友会
会報モニター募集係まで



関東新人歓迎会のお知らせ

今春から関東地区に来られる皆さん、奮ってご参加ください。

日 時: 5月31日 (土) 13:00
会 場: 「パナソニックセンター」1階ホール 東京都江東区有明2-5-18
最 寄 駅: ゆりかもめ有明駅/りんかい線 国際展示場駅
会 費: 新卒者 2,000円 平成卒 3,000円 昭和卒 4,000円
問合せ先: 東京オフィス Tel. 03-5204-8611 E-mail: tokyo@st.ritsumei.ac.jp
※詳細は立命館大学校友会ホームページで
なお本企画は東京校友会・神奈川県校友会・埼玉県校友会・千葉県校友会の共催です。

大阪地区新人歓迎会のお知らせ

今年で2回目になる催しです。どうぞご参加ください。

日 時: 6月7日 (土) 13:00
会 場: 大阪キャッスルホテル3階「錦城閣」
大阪市中央区天満橋京町1-1
最 寄 駅: 地下鉄谷町線・京阪電鉄 天満橋駅
問合せ先: 大阪オフィス Tel. 06-6201-3610
※詳細は立命館大学校友会ホームページで